

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第4回研修を開催しました！」

第4回の研修は、令和6年5月17日（金）18日（土）に零石町南畠のコテージむらで行いました。

今回の研修では、獣害対策に高い実績を有する、サージミヤワキ株式会社盛岡事務所の須藤知生氏を講師にお招きし、農業生産に係る鳥獣害の現状と電気柵による防護方法をご説明いただき、その後に研修指導員からピーマンとなすの栽培についての講義を行いました。

講義の中で須藤氏から、「電気柵は『心理柵』であり、防護対策は被害獣に対して徹底的な嫌がらせをすることが重要。これからは農作業体系の1つとして、鳥獣害対策を学んでいただきたい。」とのことでした。

実習では、講義に引き続き、須藤氏から電気柵の設置に係る資材及び設置方法や設置に係

る留意点を丁寧に教えていただきました。残念ながら金曜日は生憎の天気のため、実習作業を行うことはできませんでしたが、翌日には、実習ほ場及びトマトハウス回りに電気柵を設置しました。

設置後には、テスターを使用して電気柵の電流を測定し、正常に通電していることを確認しました。

実習の後半は、なすとピーマンの苗の定植を行いました。

鍬の使い方にも、慣れてきた受講生が増えた印象を受けました。

次回の研修は、5月24日（金）、25日（土）に、マルチフィルム、栽培管理についての講義、実習では、さつまいも、さといもの植付けを行う予定です。



電気柵の資材について説明する
サージミヤワキ株式会社盛岡営業所 須藤 知生 氏



電気柵のパワーユニットについての説明を聞く受講生



実習ほ場回りに電気柵を設置する受講生



ピーマンの苗を定植する受講生